平成 27 年度　事業報告書

（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

（1）ジェンダー問題に関する研究・調査

① プロジェクト研究

男女共同参画社会形成のための基本的な問題解決に資するため、平成 24 年度から 3 年計画で開始した当研究所主催のプロジェクト研究の資料集の発行に向けて、準備をすすめた。

テーマ：「雇用労働と子育て」におけるジェンダー差別構造とその解体をめぐる研究
－養育の社会化をめぐって－

内　容：プロジェクト研究で収集した 1960 年代から 1980 年までの名古屋の共同保育所運動に関する資料に基づき、プロジェクト研究会・資料グループによる資料集に掲載する原稿の選定・年表や資料リストなど参考資料の調整及び解説原稿の検討などを行うため調整会議を 15 回行った。

また、全体会を 6 回開催し、資料集の編集方針・構成の検討など資料集発行に向けての準備を行った。

一方、資料集の原稿とするため、共同保育所の記録をはじめとする膨大な手書き文書を含む 335 件の資料を委託して活字化した。

② 海外調査

アメリカ合衆国のジェンダー関連機関を訪問し、ジェンダー研究の実情や各機関の活動について調査するため、3 名を派遣した。

派遣期間　　平成 27 年 8 月 26 日～9 月 4 日

派遣先　　アメリカ合衆国　ワシントン D.C.　女性政策研究所（IWPR）
全国女性機構本部（NOW）
ニューヨーク　　コロンビア大学　女性･ジェンダー･セクシャリティ研究所　ほか

報告会　　平成 27 年 12 月 5 日（土）10 時 30 分～12 時、東海ジェンダー研究所セミナー室で「海外派遣報告会」を開催した。報告者は、新井美佐子さん、大野光子さん、武田貴子さんの 3 名で、参加者は 23 名であった。

（2）ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 27 年 4 月 15 日～5 月 31 日
・応募総数　　27 名
・審査委員会

第１次選考　　平成 27 年 6 月 22 日　14:00-15:35　　当研究所にて選考会議
第２次選考　　平成 27 年 6 月 22 日　15:45-16:30　　当研究所にて選考会議

・受託者（5 名）

＊　大森　順子（オオモリ　ジュンコ）
（公益財団法人　子ども情報研究センター　事務局員）
フェミニズムにおける子ども・子育ての位置づけと子育て支援に向けての思想構築～子育て支援のなかでの母親の困難さとフェミニズム思想の役割を考える

＊　瀬戸山　有美（セトヤマ　アミ）
（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野　博士後期課程）
未就学児をもつ女性医療従事者におけるワーク・ライフ・バランスに対する育児支援の効果の実証的研究

＊　山本　千晶（ヤマモト　チアキ）
（お茶の水女子大学生活科学部非常勤講師）
「中絶の権利」からリプロダクティブ・ライツへ

＊　古橋　綾（フルハシ　アヤ）
（中央（Chung-Ang）大学校社会学科博士課程（韓国））
「内鮮結婚」政策に見る大日本帝国の植民地主義：超国的なジェンダーの視点から

＊　中村　雪子（ナカムラ　ユキコ）
（お茶の水女子大学非常勤講師）
インドにおける開発プログラムとしての女性酪農協同組合再考:ガバナンスとエンパワーメントの視点から

・助成金額　　計　１,５００,０００円（各３０万円）

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上助成した。

・募集期間　　平成 27 年 4 月 15 日～5 月 31 日
・応募総数　　5 件
・審査委員会
第１次選考　　平成 27 年 6 月 22 日　14:00-15:35　　当研究所にて選考会議
第２次選考　　平成 27 年 6 月 22 日　15:45-16:30　　当研究所にて選考会議
・受託団体　　１件（１件は、決定後辞退）

＊　WISH（女性と制度と歴史研究会）
女性運動と行政の協働に関する調査研究：男女雇用機会均等法の成立過程を事例として（平成 26 年度から継続）

＊　アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク
在日コリアン女性に対する複合差別実態調査
－在日コリアン女性の複合的な生きづらさとは－
決定通知後、辞退の申し出があった。

・助成金額　　計　２０万円

（３）ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため国際講演会・報告会等を開催した。

① 国際講演会

1970 年代から 40 年以上にわたる講師のイギリスでのフェミニズム運動の活動・経験・歴史、それぞれの時代の課題を通して参加者がこれからのフェミニズム運動のあり方を考えるために開催した。

・テーマ　イギリスにおけるフェミニズムー昨日・今日・明日ー
・講　師　ゲイル・チェスターさん（イギリスのフェミニスト）
・通　訳　野崎　由紀さん
・日　時　平成 27 年 10 月 24 日（土）13：30～16：30
・会　場　名古屋都市センター　特別会議室
・参加費　無料
・参加者　60 名（定員 80 名）

＊国際講演会の翌日の 10 月 25 日（日）11:30~14:15 には、東海ジェンダー研究所セミナー室において、ゲイル・チェスターさんを囲んでランチ・ミーティングを行い、日本（名古屋）とイギリスのフェミニズム運動の歩みについて意見交換を行った。

また、10 月 26 日（月）10:30~13:00 には、東海ジェンダー研究所セミナー室でゲイル・チェスターさんと役員等とで女性の情報収集提供事業ほかについて、フリートーキングを行った。

② ジェンダー問題基礎講座

昨年度のジェンダー問題基礎講座（その１）（その２）に引き続き、「ジェンダーとはなにか」をテーマにフェミニズムとジェンダーの意味を考える講座を開催した。

・テーマ　ジェンダーとはなにか
　　ー政治思想史で読み解くジェンダーー
・講　師　水田 珠枝さん（名古屋経済大学名誉教授・東海ジェンダー研究所顧問）
・日　時　平成 27 年 12 月 5 日（土）13：30～16：00
・会　場　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・参加費　無料
・参加者　42 名（定員 30 名）

③ 個人助成受託者報告会

前年度の個人助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

・日　時　平成 27 年 7 月 12 日（日）14：00～17：10
・会　場　東海ジェンダー研究所　セミナー室
・報告者　森　悠一郎さん（東京大学大学院法学政治学研究科助教）
　　洲崎　圭子さん（お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科比較社会文化学専攻博士後期課程）

横山　美和さん（お茶の水女子大学基幹研究院研究員）

・参加費　　無料

・参加者　　20 名（定員 24 名）

終了後、報告者を交えて交流会を開催した。

④　団体助成報告会

全国で男女共同参画センターの縮小や委託化がすすむ中、男女共同参画センターを研究テーマとした 2 団体（平成 24・25 年度）の報告を受け、課題と今後のあり方を考えるため団体助成報告会を開催した。

・テーマ　　男女共同参画センターを考える

・日　時　　平成 27 年 9 月 12 日（土）13：50～16：00

・会　場　　東海ジェンダー研究所　セミナー室

・報告団体

（その１）特定非営利活動法人リソース・エンパワメント・ネットワーク REN
新たな潮流の中での男女共同参画センターの役割研究プロジェクト

（その２）「男女共同参画センターが行なう相談事業の現状と課題」研究会

・参加費　　無料

・参加者　　38 名（定員 30 名）

⑤　国際会議報告会

オランダ・アムステルダムの女性センター「アトリア」がアーカイブ構築から 80 年を記念して開催した国際会議に参加した講師に女性ライブラリー、アーカイブの世界的ネットワークなどの話を聞き女性アーカイブのあり方を考えるため開催した。

・テーマ　　21 世紀の女性アーカイブーアムステルダム「アトリア」2015.12－

・講　師　　青木　玲子さん（国立女性教育会館客員研究員）

・日　時　　平成 28 年 3 月 26 日（土）13：30～16：00

・会　場　　東海ジェンダー研究所　セミナー室

・参加費　　無料

・参加者　　28 名（定員 30 名）

⑥　賛助会員のつどい

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。今年度は課題とあり方を考えるため、STAP 細胞事件の経緯や背景を客観的に報道し、高い評価を得た著者の話を通して女性科学者をめぐるジェンダー問題を考える機会とすることを目的に開催した。

・テーマ　　捏造の科学者　STAP 細胞事件

・講　師　　須田　桃子さん（毎日新聞東京本社科学環境部記者）

・日　時　　平成 28 年 1 月 30 日（日）13：15～15：40

・会　場　　サイプレスガーデンホテル　小宴会場

・参加費　　無料

・参加者　　106 名（定員 60 名）

＊　賛助会員数　　193 名（平成 27 年度末現在）

（4）年報及びニューズレターの発行（広報・出版活動）

① 年報『ジェンダー研究』第 18 号の発行

依頼論文、公募論文・研究ノート、特別寄稿、アメリカ訪問報告及びプロジェクト研究報告等を掲載し、当研究所の平成 26 年度事業報告も掲載した。

また、第 18 号は、表紙を横書きに改め、論文タイトル・目次の英文表記に加え、公募論文・研究ノートの英文概要を前号に引き続き掲載した。

＜公募論文＞

・応募期間　平成 27 年 4 月 15 日～9 月 30 日

・応募総数　5 件（一般 2 件、個人研究助成受託者 3 件）

・審査委員会

第 1 次選考	平成 27 年 10 月 16 日	当研究所にて選考会議
第 2 次選考	平成 27 年 12 月 9 日	当研究所にて選考会議

・発行月　2 月

・発行部数　700 部

・掲載内容

依頼論文	1 件
公募論文・研究ノート	4 件
特別寄稿	1 件
アメリカ訪問報告	1 件
プロジェクト研究関連	1 件

② ニューズレター『LIBRA』第 54・55・56 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

発行月　7 月（54 号）・11 月（55 号）・3 月（56 号）

発行部数　各号　1,300 部

（5）他事業への助成（後援）

① NPO 法人「ウィメンズ・ボイス」設立記念講演会

・テーマ　「変貌するアメリカの大学と女性平等の行方」

・講　師　ミリアム・リンジー・レバリングさん（テネシー大学名誉教授）

・日　時　平成 27 年 6 月 6 日(土)　13：30～16：00

・会　場　あいち女性総合センター　ウィルあいち 2 F 特別会議室

・主　催　特定非営利活動法人「ウィメンズ・ボイス」

② NPO 法人　ウィル 21 フォーラム設立 20 周年記念フォーラム

・テーマ　北京女性会議から 20 年
～何が変わって、何が変わっていないのか？～

・講　師　池田桂子さん（弁護士・ウィル 21 フォーラム監事）

・日　時　平成 27 年 12 月 6 日（日）　12：30～16：00

・会　場　あいち女性総合センター　ウィルあいち 3 F 大会議室

・主　催　特定非営利活動法人　ウィル 21 フォーラム

（6）ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と提供

① ジェンダー問題に関する図書・資料を収集した。また、図書・雑誌等の整理を順次行った。

・プロジェクト研究に関する図書の収集　図書 32 冊

・ジェンダー問題に関する図書の購入・寄贈　図書 36 冊

・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など）　40 タイトル

② 研究者からジェンダー問題に関する図書・資料の寄贈を受けた。

寄贈者 7 名　計 108 箱＋1 袋

③ 図書の収集に関する方針や分野を検討するため、有識者の出席のもとに「蔵書を考える会」を 1 回開催した。

（7）その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

① ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出

平成 27 年度利用登録　11 件、年間利用件数　112 件（平成 26 年度　107 件）

② ジェンダー問題に関する会議等への出席

・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや)」への参加

平成 28 年 1 月 8 日

・公益財団法人　あいち男女共同参画財団理事会への出席

平成 27 年 6 月 2 日、平成 27 年 6 月 24 日、平成 28 年 3 月 18 日

・「あいち女性連携フォーラム」への参加

平成 28 年 2 月 28 日